

夢ある園芸産地創造事業(大規模園芸拠点整備事業)の概要(旧メガ団地事業)

R4に制度
改正

◎ねらい 複合型生産構造への転換を加速させるため、市町村の園芸振興計画に基づく産地化に向けた取組を支援します。

事業内容

- 1 実施期間 令和4年度から令和7年度
- 2 実施主体 農業協同組合、農業法人等
- 3 補助率
 - (1) 国庫事業を活用する場合：国 50%
 - (2) 県単事業の場合：県 50%

4 対象品目

○県の重点品目

野菜：えだまめ、ねぎ、アスパラガス、トマト、きゅうり、すいか
花き：キク類、トルコギキョウ、ユリ類、リンドウ、ダリア
果樹：りんご、なし、ぶどう、おうとう、もも
きのこ類：菌床しいたけ

○地域振興品目

産地で概ね3千万円以上の生産販売計画を有する園芸品目

5 主な助成対象

パイプハウス、かん水設備、養液栽培設備、暖房機、
播種機、管理用機械、防除機、収穫機、調製・選別機、
予冷库、作業舎 等

6 推進体制

総合
支援
対策

本庁関係各課

- 農林水産部内に「園芸メガ団地支援グループ」を設置。
- ソフト支援についても関係各課の関連事業を取りまとめ、ハード・ソフト支援を併せた総合支援対策として推進。
- 地域別にJA、市町村、振興局等からなるプロジェクトチームを設置し、整備計画の策定等を推進。

地域プロジェクトチーム
(JA・市町村、振興局等)

平成26年度から令和3年度

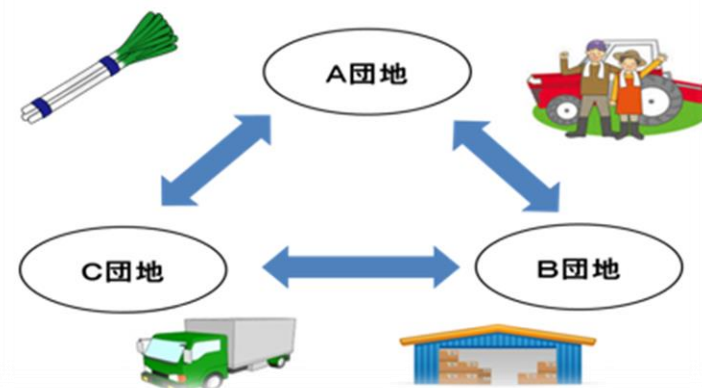
(1) 園芸メガ団地

原則として1か所に団地化し、野菜や花きの販売額
1億円を目指す団地



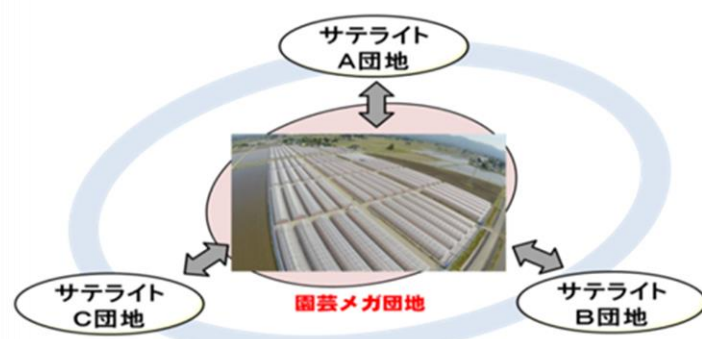
(2) ネットワーク型団地

主要品目を原則共通とする複数の団地
(1団地が3千万円以上)が生産・販売で連携し、販売額
1億円以上を目指す団地



(3) サテライト型団地

核となる「メガ団地」の周辺地域に立地し、主要品目や生
産・販売で連携して販売額3千万円以上を目指す団地



令和4年度から令和7年度

夢ある園芸産地創造事業(大規模園芸拠点)

- (1) 大規模拠点タイプ
- (2) 中山間拠点タイプ

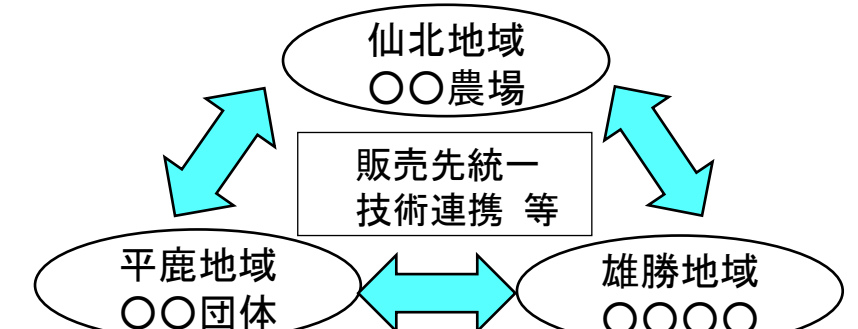
(1) 大規模拠点タイプ

大規模拠点タイプは、これまでどおり、1経営体で1億
円を目指すことも、複数経営体(※)が連携して1億円を目
指すこともできます

また、新たに、地域を越えて複数経営体(※)が連携して
1億円を目指すこともできます

(※) 1経営体あたり、目標年度までに年間販売額が
1千万円以上となる経営体

例：県南ブロック



- ・ 地域を超えた産地化
- ・ 販売先統一によりロット確保

(2) 中山間拠点タイプ

立地やほ場条件などの制約を抱えた中山間地域において
も、積極的に取り組んでもらえるよう、目標販売額を3千
万円(1事業主体)としたメニューを準備

○市○地区

